

12月26日は部分日食をみよう！

12月26日の午後から夕方にかけて、富山で部分日食が見られます。日食は太陽が月にさえぎられて、太陽が欠けて見える現象です(図1)。日食が起きる日時は、太陽と月と地球の位置関係によって決まり、定期的に見られるものではなく、毎回見える時間や場所が違います。1月6日の午前中にも日食があったことは、今年、1年に2回も部分日食が見られる珍しい年です。

富山市で、部分日食が見える時間と方角は図2のとおりです。最も太陽が欠ける15時31分に、直径の約34.5%が欠けますが、高度は10度とかなり低いので、場所によっては見えにくいこともあるでしょう。1月の部分日食より欠ける具合も小さい(1月は約42%)ので、少し物足りなく感じるかもしれませんが、博物館前で行った観察会では一番欠けた時間帯はくもってしまったので、今度こそ太陽が一番欠けた瞬間を皆さんと一緒に見たいと意気込んでいます。

科学博物館では12月26日(木)14時~16時30分に特別観察会を行います。令和元年最後の特別観察会です。ぜひお越しください。(竹中萌美)



図1 2019年1月6日の部分日食 (食分約0.4)

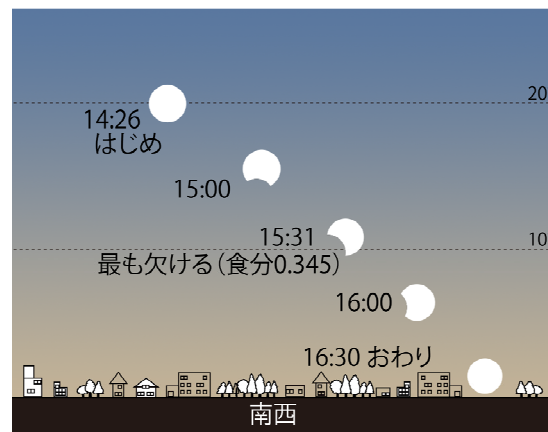


図2 2019年12月26日の部分日食

注意



太陽を直接見ない



特殊なフィルターをつけていない望遠鏡では絶対に見ない



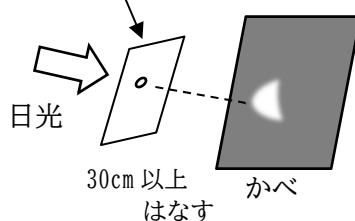
専用の日食グラスを使う(サングラスや黒い下敷きで見るのはダメ!)

身近な物でできる日食の観察方法

その1 ピンホール法

- ① 厚紙に1mm程の穴をあける
- ② 厚紙を日光に当てて影を見る
- ③ 穴を通して出た光を観察する

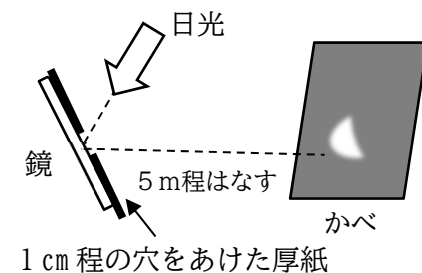
1mm程の穴をあけた厚紙



穴を通った光や鏡に反射された光が太陽と同じように欠けます

その2 鏡をつかったやり方

- ① 鏡に1cm程の穴をあけた厚紙を貼る
- ② 日光を鏡で反射させてかべに当てる
- ③ 反射した光を観察する



今月のかがくのギモン：昼間に見た太陽はまぶしくて白っぽかったのに、夕方はオレンジ色になっていました。太陽の本当の色は何色ですか？(答えは当館ホームページを見てください)